

無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬並びにその関連システムの論文特集編集委員会

これまで、無線技術を用いた携帯電話や高画質放送などは、現在の生活の基盤となってきました。そしてこれからは、高齢化、国際化、防災、防犯、言語の壁、エネルギー供給などの課題の解決に、無線技術が引き続き未来の生活の基盤となるものと考えられます。そこで、“無線で未来を描き続けるアンテナ・伝搬の技術並びにその関連システム”と題して最新の研究成果について、論文を募集します(2015年9月号)。和文論文は母国語でニュアンスまでも正確に伝え、素晴らしい論文を国内に読みやすくアピールできる性格を持ち備えております。更に特集号では、発行期限を決めておりますので、極めて迅速に論文文化を実現できます。大学そして企業の方からの多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

1. 対象分野

アンテナ設計・測定技術、アンテナ応用システム、電磁界理論、降雨減衰伝搬、衛星関連アンテナ・伝搬技術、宇宙・航空エレクトロニクス関連アンテナ・伝搬技術、マイクロ波・ミリ波～テラ波アンテナ、メタマテリアル、無線電力伝送、人体通信及び医療用アンテナ技術、次世代移動通信向けアンテナ・伝搬技術、その他アンテナ・伝搬の関連分野

2. 論文の執筆と取扱い

- ・論文の執筆、査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。 http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html
- ・原則として、論文は刷り上がり8ページ、レターは同2ページを標準とします。
- ・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2015年1月6日(火) 厳守

第1回判定通知：2015年2月下旬を予定

最終判定通知：2015年5月中旬を予定

発行月：2015年9月号

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル(4MB まで)並びに編集用電子ファイル(1ファイルにつき10MB まで)をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局 <wabun-b@ieice.org> に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 広川二郎(東工大)

編集幹事 中野雅之(KDDI 研)、高橋 徹(三菱電機)

編集委員 新井宏之(横浜国大)、有馬卓司(東京農工大)、岩井 浩(パナソニック)、北尾光司郎(NTT ドコモ)、木村雄一(埼玉大)、高橋応明(千葉大)、田邊康彦(東芝)、野口啓介(金沢工大)、平山 裕(名工大)、堀 智(小島プレス)、道下尚文(防衛大)

6. 連絡先

高橋 徹(三菱電機(株)情報技術総合研究所電子システム技術部)

〒247-8501 鎌倉市大船5-1-1

TEL [0467] 41-2155

E-mail: Takahashi.Toru@dx.MitsubishiElectric.co.jp